



前後町長から賀寿を受ける山崎さん(左)

山崎シケさんが 100 歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

3月9日に100歳の誕生日を迎えた山崎シケさん(中の沢)への賀寿贈呈式は同日、山崎さんの自宅で行われました。県会津保健福祉事務所の梅宮功健康福祉部長が知事賀寿と会津漆器の木杯を贈呈し、前後公町長が賀寿や記念品などを手渡しました。

山崎さんの長男の一行さんが「中の沢に嫁いでから80年を迎え、毎日元気に生活しています。これからも長生きしてほしいです」あいさつを述べました。

高速道路の一時退出時間が延長

「ETC 2.0」搭載車の立ち寄り時間が延長

国土交通省では3月27日から、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金制度」を、これまでの1時間から3時間に延長しました。一時退出制度では「ETC 2.0」搭載車を対象に、高速道路を降りて対象となる「道の駅」に立ち寄った後、3時間以内に再進入した場合、降りずに利用した料金のままとなります。この制度は現在、全国23カ所の道の駅で実施され、「道の駅猪苗代」も対象となる道の駅に選ばれています。



さらなる誘客の期待が高まる道の駅猪苗代

地域住民の安全・安心を確保

町消防団第5分団にポンプ車交付

町から町消防団への消防機械交付式は3月31日、町役場で行われ、町消防団第5分団川桁班のポンプ車1台が更新されました。今回配備された車両は、総重量約5ト、総排気量3000ccのオートマチック車で、放水能力は1分間に最大約2600ℓ。夜間での活動に対応するための高性能LED装置を備えています。式では、前後公町長が「地域住民の安全・安心を確保するため、予防消防に努めてください」とあいさつを述べました。



高性能LED装置を備えたポンプ車

自衛隊入隊予定者を激励

町自衛隊協力会激励会

町内の自衛隊入隊予定者の激励会は3月13日、町役場で開かれました。町自衛隊協力会会長の前後公町長が令和2年度入隊予定の六角一生さん(山瀧=山形城北高卒)に激励金を手渡しました。

前後町長が「国民のために活躍されることを大いに期待します」と激励。六角さんは「東日本大震災で自衛隊の皆さんが活躍する姿を見て以来、自衛官になることが夢でした。皆さんに元気を与えられるような仕事をしたいです」と抱負を語りました。



激励を受けた六角さん(中央)



犠牲者の冥福を祈り鐘を打つ参列者

震災犠牲者の冥福を祈る

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要は3月11日、亀ヶ城公園内の鐘楼堂で執り行われ、東日本大震災の犠牲者を弔うとともに震災からの復興を祈りました。

法要には長照寺住職で町仏教協会会長の楠俊道住職をはじめ、町内の各寺の住職や檀家の代表者、前後公町長ら約30人が参列しました。僧侶らによる読経の後、参列者が東日本大震災の犠牲者の冥福と震災からの復興を祈って鐘を打ち鳴らしました。

はじまりの美術館が優秀賞を受賞

「地域再生大賞優秀賞」受賞報告

全国の地方新聞46紙と共同通信が全国各地の優れた地域づくり活動を応援する「地域再生大賞」で優秀賞を受賞したはじまりの美術館の岡部兼芳館長と小林達也さんは3月9日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。岡部館長は「これまで地域の皆さんがつながることができる場所として活動してきたことが評価されたと思います。今後も地域の皆さんとさまざまな企画に取り組んでいきたいです」と話しました。



受賞を報告した岡部館長(中央)と小林さん(右)

霜の被害から農産物を守る

町防霜対策本部看板掲額式

農産物を霜の被害から守るため、関係機関と連携して農家への情報提供や対策技術の指導などを行う町防霜対策本部は3月23日、町農林課内に設置され、前後公町長と会津よつば農業協同組合齋藤勝則あいづ東部営農経済センター長が役場正面玄関に看板を掲げました。前後町長は「本町でもこれから本格的な農作業が始まります。関係機関の皆さんには適切な指導による被害の未然防止に協力をお願いします」とあいさつを述べました。



対策本部の看板を掲げる前後町長と齋藤センター長

優れた米生産者をたたえる

いなわしろ^{おい}美味しいお米コンテスト表彰式

「第5回いなわしろ美味しいお米コンテスト2019」表彰式は2月25日、JA会津よつば東部営農経済センターで行われました。コンテストはいなわしろ天のつぶ、いなわしろひとめぼれ、いなわしろ里山のつぶの3部門で実施され、延べ20人の生産者が出品。食味値や味度値などを基に審査した結果、いなわしろ天のつぶ部門で小林文男さんが金賞を受賞しました。表彰式では、前後公町長が受賞者に表彰状を手渡しました。



いなわしろ天のつぶ部門で優秀賞に輝いた渡部誠さん(右)